

植物防疫情報第4号

令和3年7月14日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

葉いもちの早期発見と防除に努めましょう！

7月5～9日の病害虫防除所の巡回調査によると、**葉いもちの発生ほ場率は県下全域で12.2%と平年(5.1%)より高くなっています。**また、イネいもち病発生予測システム(BLASTAM-メッシュ岡山版)を用いた葉いもち感染好適日の判定によると、7月4～10日にかけて県中北部を中心に感染好適条件が連続して出現しています。7月8日発表の広島地方気象台の1か月予報によると、7月10日～23日までは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いとされており、既に葉いもちが発生している圃場では、被害の拡大(図1)や穂いもちの発生につながる恐れがあります。**圃場内での葉いもちの発生状況を注意し、葉いもちが発生している圃場では、防除を徹底しましょう。**

(防除上の参考事項)

- (1) 葉いもち予防粒剤(箱施用剤、水面施用剤、投げ込み施用剤)を施用した圃場でも発生することがあるので、圃場をよく観察し、葉いもちが認められた場合は、液剤または粉剤を直ちに散布する(表2)。特に進展型病斑(図1)が認められる圃場では、穂いもちに進展する可能性が高いので、注意する。
- (2) 穂いもちの防除は、予防散布が原則である。液剤及び粉剤は出穂直前及び穂首出揃期の2回散布し、多発が予想される場合は傾穂期の散布を行う(表2)。粒剤の場合は、出穂前までに行うが、薬剤によって施用時期が異なるので、注意する(表3)。
- (3) 出穂前後の窒素過多は穂いもちの発生を助長するので、穂肥、実肥の施用時期及び量に注意する。
- (4) 本県ではストロビルリン(QoI)系(殺菌剤コード;11)の薬剤に対する耐性菌の発生が確認されているため、防除効果の低下が確認されない場合でも、本剤の使用は年1回までとする。

表1 BLASTAMによるいもち病(葉いもち)感染好適日の推定結果(6月25日～7月9日)

月・日	北部				中部					南部					
	上長田	千屋	奈義	古町	新見	久世	津山	福渡	和気	高梁	岡山	虫明	倉敷	笠岡	玉野
6月25日	-	-	-	●	○	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6月26日	○	○	●	●	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-
6月27日	○	○	-	-	○	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月28日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月29日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●
6月30日	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	●	-	-
7月1日	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-
7月2日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月4日	-	●	●	-	●	●	●	-	●	-	□	●	□	□	●
7月5日	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月6日	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月7日	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月8日	●	-	●	●	-	□	□	-	□	-	-	-	-	-	-
7月9日	●	●	●	●	-	●	●	□	□	□	-	□	▲	▲	□
7月10日	●	●	●	-	●	-	●	-	-	-	-	-	□	-	-

●：感染好適条件 (前5日間の平均気温は19～25℃、湿潤時間中の平均気温は15～25℃で、湿潤時間がいもち病の感染条件を満たす)



図1 葉いもちの病徴（左図：進展型病斑、中央：停滞型病斑、右図：ずり込み症状）

表2 主な本田防除粉剤及び液剤（下記単剤のほか下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤 コード ^{注)}
	散布量・希釈倍数	時期	回数	
トライフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	U16
フジワン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	6
ビーム粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	16.1
ビームゾル	1,000倍			
ブラシン粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	U14+16.1
ブラシンフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで		

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

表3 主な本田粒剤（下記単剤のほか下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤 コード ^{注)}
	散布量・希釈倍数	時期	回数	
オリブライト1 [※] 粒剤	1 kg/10a	出穂10日前まで (但し収穫45日前まで)	1回以内	11
オリブライト250G	250g/10a			
オリゼメート粒剤	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂3～4週間前 (但し収穫14日前まで)	2回以内	P2
ゴウケツ粒剤	3～4 kg/10a	出穂5日前まで (但し収穫30日前まで)	1回以内	16.3
ゴウケツパック	小包装(パック)10個 (450g)/10a			
サンプラス粒剤	3～4 kg/10a	出穂5日前まで (但し収穫30日前まで)	1回以内	16.3
サンプラスパック	小包装(パック)10個 (450g)/10a			
コラトップ粒剤5	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前	2回以内	16.1
コラトップジャンボP	小包装(パック)10～13個 (500～650g)/10a	葉いもちには初発20日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前		
フジワン粒剤	3～5 kg/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫30日前まで)	2回以内	6
フジワンパック	小包装(パック)10～15個 (750～1,125g)/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫14日前まで)		

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

